

# 掛田自治協議会からのお知らせ 掛田の広場



第31号  
2022年9月22日  
掛田自治協議会  
〈発行責任者〉  
会長 大友靖子

東京の大学生が掛田に来ます。掛田自治協議会が、福島県の「大学生の力を活用した集落復興支援事業」に選ばれ、東京芸術大学の学生との交流が行われます。高齢化による担い手不足などの様々な課題に対し、大学生の新たな発想などを活用し、地域の活性化を図ろうというものです。

掛田自治協議会ではこの間、「掛田未来プロジェクト」を開催し掛田の活性化策を策定しています。どのような形でそれを実行していくのが今問われているところとあります。その時にあって外部の発想、大学生の若い力によるヒントが頂けるかもしれません。

勿論若い人が短期間この掛田を見たからと言って、すぐに掛田活性化のヒントが出てくると考えるのは無理があるとも思います。掛田自治協議会では長い目で見て、今後も地域外の人達との交流を続けるくらいの思いで、この事業を進める考えです。

今年は9月下旬から10月上旬にかけて、学生の皆さんがこの掛田を訪れ、掛田の街並み、道の駅見学、茶臼山登山、地域の方々との交流会等が行われる予定です。事前打ち合わせのため、

## 東京藝大生の力を借りて！

Zoomによる打ち合わせが繰り返されています。(パソコン画面を通していけばテレビ会議です)

このZoom会議はコロナ禍にあつては、学生、働く人にとっては普通の出来事ですが、私達掛田自治協議会のメンバーにとつては、新しい出来事です。既に新しい風が少し吹いているのではないのでしょうか。

地域の皆さんには、大学生と会う機会があれば気軽に声をかけてください。

(地域づくり部会長 八島豊吉)



Zoom会議モニター



東京芸術大学



Zoom会議風景

## 「スマホ駆け込み寺」を開催中

急激なIT社会の到来は、私達特に高齢者を大いに戸惑わせています。しかし社会は常に進歩していくものですので、互いに支え合いながら社会生活を送っていきたく思います。その中で、携帯電話は私たちの生活になくてならないものになっていきます。しかし、いわゆるガラケー(今までの携帯電話)は順次スマートフォン(スマホ)に代わっていくことになっていきます。

最近高齢者にもそのスマホが普及しつつあります。今までの携帯電話に比べ、飛躍的に様々なことができるようになってきています。その分操作は一段と複雑になっており、特に高齢者を苦しめています。

そこで掛田自治協議会では、高齢者のスマホの取り扱いを支援するために「スマホ駆け込み寺」を開催しております。



(地域部会 清野良治)

◎主要事項は次のとおりです。  
\*9月、10月の毎週火曜日午前9時30分～11時・霊山中央交流館  
\*担当者がいますので、予約なしで質問においでください。もちろん無料です。

## 子ども食堂だより



### 子ども食堂おいでよ!

8月27日(土)開催

4月にスタートした子ども食堂は、地域の皆様に食材提供や調理ボランティアでご協力いただき、5回目を開催することができました。食事の提供はテイクアウトとなっておりますが、多くの皆様に喜んでいただいております。

今回のメニューは、夏野菜たっぷりカレーライスで、七十用意させていただきました。一時間足らずで完売となりました。

これからも栄養のある食事や温かな団欒の場を提供して行きたいと思っております。毎月最終土曜日開催予定ですので、お気軽にお越しください。

霊山マルシェ実行委員会  
(佐々木 和子)

## イベントのお知らせ

- 事故にあわないおこさない 秋の全国交通安全運動
  - ・9月21日～30日まで10日間
- 映画祭 上映作品「ディア・ドクター」
  - ・10月15日(土) 9時30分～/13時30分～
  - 各先着50名様 入場整理券は霊山中央交流館で9/27から配布
- 文化祭
  - ・11月5日(土)…芸能発表会
  - ・11月5日(土)・6日(日)…展示発表会
- 秋の霊山紅葉まつり
  - ・10月下旬～11月上旬(土・日・祝日)

## コラム

昨今のコロナ禍、ウクライナ戦争という暗い世相の中、今、私達の世界観は「何色」なのでしょう。前途が見通すことの出来ない何かしらの「もや」がかかったようなグレイの如きに感じ受けます。

この悶々とした懸念を払拭するためにもせめて私達は全てにおいて明るい装い、インテリア、生活をしてみてはいかがでしょう。ひとりひとはすべて異なり

明るく生活できる  
工夫の話をしてくださいね!!



ます。ひとりひとりが互いに集まってこそ美しい「色」が醸し出されることと思います。

この五里霧中のような世の中を打ち砕くために明るく歩んでいきたいと思っております。第7波が終息して以前の生活に戻れるように切に願って止みません。

## 編集後記

「掛田の広場」をお読みいただきありがとうございます。今回31号は記事が少ないから2ページに思っていたら、なんと各部会の活動が自主的に発行されており沢山の原稿が集まりました。このように自治協議会の活動が自主的に活性化されていく事は大いに結構で地域が活性化することに繋がります。この「掛田の広場」も地域の情報誌として活性化するように努めて参ります。皆さんのご意見ご希望、ご投稿もよろしくお願ひします。(みんなで作ろう、みんなの地域。)

お問い合わせ先 霊山中央交流館  
電話 586-1314 FAX 586-3391  
e-mail kakedajichikyougikai@airos.ocn.ne.jp

### 金婚夫婦を表彰

福島民報社と福島県老人クラブ連合会が主催し、霊山町老人クラブ連合会が実施主体となって、9月7日(水)中央交流館で「金婚夫婦表彰式」が開催されました。主催者あいさつの後、町内6組の金婚夫婦を代表して、掛田地区の岡崎勝弘さん、恵子さん夫婦に表彰状と各種記念品が贈られました。

また、来賓祝辞のあと、受賞者を代表して掛田地区の樋口正勝さん、允子さん夫婦が謝辞を述べま

した。表彰式の後、「金婚を祝う会」が開かれ、大石虹の会の「スポーツ民謡」とオールドプレイヤーズの「懐かしのメロディーの演奏」を楽しみました。なお、6組の受賞者は次の方々です。(写真右から)

大橋 通男・悦 子様  
引地 友章・タ マ様  
樋口 正勝・允 子様  
岡崎 勝弘・恵 子様  
高橋 唯夫・トモ子様  
菅野 忠・(静子)様



みなさま おめでとうございます

### 第38回だての郷 霊山太鼓まつり

8月21日(日)伊達市の保原総合公園で3年ぶりに盛大に開催されました。会場には、暑さに負けない勇壮華麗な太鼓の音が響き渡りました。

約350年の伝統がある霊山太鼓は、大太鼓を連打する「曲打ち」や打ち手らが一齐に太鼓を打ち鳴らす「同時打ち」などが披露されました。



オープニングセレモニー

年分の思いを込め、力強い演奏を繰り広げました。12台のキッチンカーも並び、ライブ演奏などで心身共に満たされた一日でした。



同時打ち



行列の出来たキッチンカー



曲打ち

### はつらつ教室

#### オールドプレイヤーズ コンサート

7月15日(金)霊山中央交流館大ホールで、第2回「はつらつ教室」が開催されました。ちよこつと体操で身体をほぐした後、アマチュアバンドのみなさんをお招きし、トランペットとサクソフの生演奏を堪能しました。

ソロ演奏から始まり、三人揃ったの演奏まで全15曲を披露。管楽器の持つ奥深い音色が会場全体を包み込み、

参加者全員が心おだやかに優しい時間を過ごしました。



音楽に合わせて♪



バンドのみなさん

### 掛田の歴史を訪ねて

4月9日(土)に社会教育部で、掛田の歴史を訪ねるウォーキングを開催しました。天候にも恵まれ、18名の申し込みで霊山中央交流館を出発して、愛宕神社・千尋観音等を巡りました。

愛宕神社では門守直之様(八幡内)より、歴史等を丁寧に説明して頂きました。また、千尋観音では管理者の桜田さんに扉まで開けて頂き、観音像を拝見しました。千尋観音が信達33観音で28番札所等の資料を、佐藤隆昭様に作成して頂き大変参考になりました。遠く霊峰霊山を望み茶臼山も一望出来る千尋観音に皆様も是非御参拝してみてください。

ゴール後、クイズを行い、正解者には記念品を外れた方には参加賞を差し上げて掛田の歴史を訪ねるウォーキングは無事終了しました。自分の住んでいる身近にも歴史的な建造物があるのだとつくづく思いました。ウォーキングに参加して頂いた方々難うございました。



門守様の説明を聞く参加者たち

(社会教育部会長 菅野正二)

### 恒例のラジオ体操会



掛け声も軽やかに 1、2、3、4

今年度で7回目となる朝のラジオ体操会を、地域の皆様のご協力により無事開催することができました。6月〜7月までの全9回に渡り、幸いなことに一度の中止もなく、延べ参加者数358名という多数のご参加をいただき実施することができました。爽やかな朝の挨拶に始まり、ハツラツとラジオ体操に励む皆様の姿は、健康と長寿を象徴するものでした。来年度も多数の皆様のご参加をお待ちしております。

(社会教育部会 渡辺邦彦)



### 掛田小学校で陸上教室開催

9月9日(金)オリンピック選手 手陸上千葉麻美さん(福島県矢吹町出身 400m 51秒75の日本記録保持者)を迎えて陸上教室が掛田小学校(校長 渡邊かおり)校庭で行われました。

コロナ禍でしたが、児童の豊かな体験を広げるため、オリンピックの千葉先生から直接ご指導頂き、正しい走り方を身につけ、オリンピック、パラリンピックをより身近に感じ親しんでもらう企画です。

千葉先生から姿勢を直すこと、体のバランスの取り方や、早く走る時の手と足の向きなどを具体的に教えていただき、早速熱心に練習していました。

(自治協議会 事務局)



オリンピック選手 千葉麻美先生



バランス取り方練習の児童達

